

◆日本共産党は、大軍拡・大増税許さず、命と暮らしを守る政治実現に全力を尽くします

休日当番病・医院

1月15日(日)

- ◆内科 さくらファミリークリニック 東開町 55-6526
- ◆外科 苦小牧日翔病院 矢代町 72-7000
- ◆歯科 大原歯科医院 しらかば町 74-0830

診療時間：内科・外科＝9時～17時、歯科＝9時～12時
本紙は、毎週火曜日に編集しますので、その後に休日当番医が変更になってもお知らせすることはできません。
ご利用されるときには、あらかじめ電話でお確かめください。

法律相談



1月25日(水)
小野寺信勝弁護士

(定員になり次第締め切ります)
日本共産党苦小牧地区委員会
苦小牧市見山町2-2-6 申込 56-5002

しんぶん赤旗読者のための

日本共産党 民主苦小牧

発行 日本共産党苦小牧地区委員会

苦小牧市見山町2丁目2番6号 電話 56-5002 fax 56-5086

日本共産党のホームページ
http://www.jcp.or.jp
苦小牧市議団ホームページ
http://toma-jcp.sakura.ne.jp/
eメールアドレス
commun@rose.ocn.ne.jp

非核平和条例もつ港の軍事利用望ましくない

軍港化阻止実行委

今月末の米艦船寄港反対を市に要請



の軍艦入港に反対、懸念を表明してほしい ②岸壁の利用調整は米艦船の優先はないと明示してほしい ③万入港するとなった場合は、武器・弾薬を搭載する軍艦の事故対応が困難なことを踏まえ、安全確保のための実効的な対策を関係機関に求めてほしい」と要請しました。

大幅な賃上げで日本を元気に 苦小牧春闘共闘会議 勝利めざし宣伝

木村副市長は、「港湾法と日米地位協定に従い対応する」「米艦船を優先することはない」「市民の安全確保を第一に考え、関係機関と連携していく」と答えました。横山委員長は、米軍が自国内や他の先進国では許されないことを、日本国内では当然のように手前勝手にふるまっ

「苦小牧港の軍港化阻止実行委員会」(委員長横山傑)は22日、米海軍ミサイル駆逐艦ラファエル・ペラルタが今月末に苦小牧港入港を求めていることに反対し、認めないよう岩倉博文市長に要請しました。横山委員長ら8人が市役所を訪れ、応じた木村淳副市長に要請書を手渡しました。

「苦小牧春闘共闘会議」(代表横山傑)は6日朝、恒例の新春スタンディング宣伝を市役所前の国道沿いで行いました。マインス11度の寒さに負けず、参加した労働者ら17人は、手づくりの一文字大プラスタ「#今年こそ賃上げで日本を元気にしよう」と「許すな！解雇自由社会」ののぼり旗を掲げ、通行する市民や車に手を振り、アピールしました。大企業が内部留保を500兆円まで積み増したもとの春闘。内部留保を最賃と中小企業への賃上げに回せとの声

「い」と重ねて求めました。参加者からは、「外務省は核搭載の有無を米軍に直接確認しているのか」「米軍が市内に外出する時には、市民に危険防止の観点から広報を行うべきだ」との疑問が出され、市側から、「核搭載の能力を有しないことを外務省が確認した」「米軍が危険だと強調することはない。市民との交流を希望されれば、応えていく」とのべました。

戦争への道 阻止へ

共産党が新年の誓い



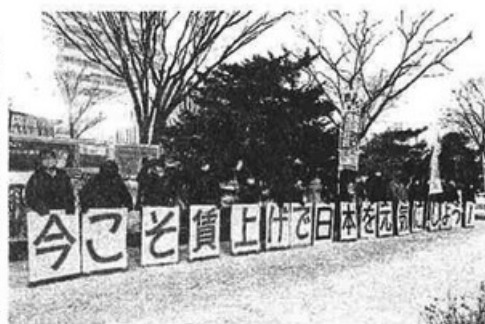
日本共産党北海道委員会は6日、「新春党旗開き」を札幌市で3年ぶりに行いました。畠山和也衆院議員が司会を務め、「戦争させない市民の風・北海道」の川原茂雄共同代表、社民党道連合の浅野隆雄幹事長、新社会党道本部の小柳政行書記長が来賓あいさつ。紙智子、岩淵友両参院議員があいさつし、道議現職らが統一選挙勝利に向けて決意をのべました。

「戦争か平和かの歴史的な岐路の年になる」と青山慶二委員長が主催者あいさつし、「反戦平和を貫いて100年の共産党の存在をかけて全力を尽くしたい。保身と延命のためには何でもやる岸田政権打倒の声を大きく広げ、統一選挙での共産党の躍進こそが政権への打撃となります」と支援を訴えました。

川原共同代表は、共闘を日常的に強め、「絆をより強固にするため共闘の中心に共産党が必要」と期待しました。

原発推進に反対

横山代表は、宣伝カーのマイクを握り、今年の春闘では抜本的な賃金の引き上げを何とかして実現しなければならぬと強調。「今こそ大幅な賃上げで物価の高騰を跳ね返し、内需を拡大してその恩恵をすべての働く人にもたらす。日本を元気にしていきたいと思います」「働く者の切実な声を政治に反映させるために、広範な世論を結集して、春闘で勝利しようではありませんか」と力説しました。



マイナカード強制になる
健康保険証の
廃止 撤回を
日本共産党

貴重な郷土資料が15件廃棄

原市議

中央図書館の蔵書管理を質す



います。

郷土資料は貴重で、失われると二度と復元が不可能であるからこそ除籍基準から除外されているはず。原議員は、「返却されないまま除籍対象になるなどあってはならない。一般図書と違う厳重な手続きが必要ではないか」と対策の強化を求めました。市は、不明のまま除籍となることについて、「手続きせず無断の持ち帰りが理由として考えられ、完全には防ぎきれない」と答弁。

苦小牧中央図書館について、「新規に一定数購入されているが、同じ数だけ廃棄されているのでは」「貴重な資料についても除籍されているのではないか」と心配する市民の声があります。

12月定例会市議会で、日本共産党の原啓司議員は、中央図書館の除籍基準と過去5年間の除籍の詳細について説明を求め、除籍の決定に市教委がどのように関わっているのか質しました。市教委は、本来除籍の対象となっていないはずの郷土分野の本が、この5年間で15件処分され、除籍された中には市町村史と言った貴重なものもあります。除籍(廃棄)に至った理由は、「不明」や「未返却」として

原議員は、「持ち帰りと簡単に言うが、管理がずさん」と指摘し、「背景には市立図書館の離職率が24・1%で、短期間で職員が入れ替わり、業務の継続性が保たれないほどの厳しい職員体制が影響しているのではないかと」迫り、

指定管理制度導入時に懸念されていた状況になっていると厳しく述べました。

教育部長は、「郷土資料については、一般資料とは異なり、原則持ちだしてできないことになっている。申請書の提出によって、特別な貸し出しを認めており、返却が遅れた場合はこまめに督促を行っている」と答えました。

原議員は、市民の財産である図書を毎年一定数の除籍をしなければならぬ理由に、保管場所の課題があるのなら、「学校の空き教室や公共施設のスペースを利用するなど、新たな保管場所を確保する努力も必要ではないか」と指摘しました。また、除籍基準に基づいて除籍される図書の点検、決定を誰がその時点

生業と暮らしを守るために インボイス 実施中止を 日本共産党

どのような判断し、市教委の目などの時点で入るのかと除籍の流れについて述べました。

苦小牧中央図書館の入館者や貸し出しは、コロナによる休館もあり、ここ数年減少しており、来館者の充実には蔵書の充実が必須です。指定管理者制度の導入により3000万円の購入予算が確保されています。指定管理導入後、どのように蔵書整備がされ、市民、地域や利用者の意見が確実に図書購入に反映されるような仕組みが徹底されるか課題となっています。

アフガンの女性運動の今を報告

来月2・11反戦平和集会

清末教授が講演

労働組合や宗教者が参加する「思想と信教の自由を守る苦小牧市民会議」(代表Ⅱ丸徹牧師)は、来月の建国記念の日に「2・11」集会を開催します。

市民会議は、1967年の「建国記念の日」強行に反対する運動を機に発足。毎年2月11日と8月15日に反戦平和集会を開催してきています。

今回は、室蘭工業大学の清水愛砂教授(憲法学、ジェン

ダー法学)を講師に迎え、「アフガニスタンの女性運動のいま」をテーマに、1年半を迎えて」と題し、女性の教育、貧困、権利拡大活動を報告、講演します。

マスキの着用が必須です。

★ 2月11日(土) 18時

アイビープラザ講習室
参加費 無料
連絡先 丸さん
電話 32・4509



北海道と国政を 変える一年に

国会かけある記 いわぶち友で

新しい年を迎えました。年明けすぐに第7回中央委員会が開かれ、来行われる日本共産党大会までに強く大きな党をつくることを決めました。

年末に2人の方に入党をすすめる機会がありました。一人は党員の姪っ子さん。コロナ禍に物価上昇でくらしが大変。貧困と格差が広がるもとで、少しでもできることをしたい」と決意しました。

もう一人は、党員のパートナーです。仕事で忙しく十分活動できないとの思いでしたが、「仕事や家庭のこ

とを大切にするのは当然です。状況をみながらやりましょう」と話すと、「妻は活動ばかりで、あまり家にいませんが」と笑いながら、「自分が入党して力になるなら」と決意しました。

とでも嬉しい。入党をすすめる、相手の方が政治をどう見ているのか、共産党にどんな疑問や思いをもっているのかなどを知ることができ、いろいろなことが分かります。話し合うことで元気が出ます。大いに日本共産党を大きくする一年にしたいと思っています。

統一地方選挙の年です。共産党を大きくしながら何としても選挙に勝利したい。道委員会主催の「新春党旗開き」では、道議予定候補、札幌市議予定候補のみならずの決意表明を聞き、身が引き締まりました。それにしてもみなさんが個性的で魅力的です。住民と力を合わせて政治を動かす日本共産党の地方議員は頼もしい存在です。北海道と国政を変え一年に。私も全力を尽くします。



福島駅前新春の街頭宣伝(2日)

岩淵友(いわぶち・とも) 日本共産党参議院議員

中学卒業まで通院に助成を。「乳幼児等医療費助成制度の年齢拡大を求める署名」にご協力をお願いします。